

事業の基礎情報

実施主体	諫早市
事業実施地域	諫早市
共創の種類	官民共創
他分野共創の種類	介護・福祉・地域・まちづくり・その他（過疎対策）
共創パートナー	諫早市、こながい支えあいの会(以下「支えあいの会」)、小長井地域「介護予防と生活支援の語らん場」(以下「語らん場」)、(一財)諫早市小長井振興公社(以下「公社」)
運行形態	ボランティア輸送
運行主体	支えあいの会

取組の概要

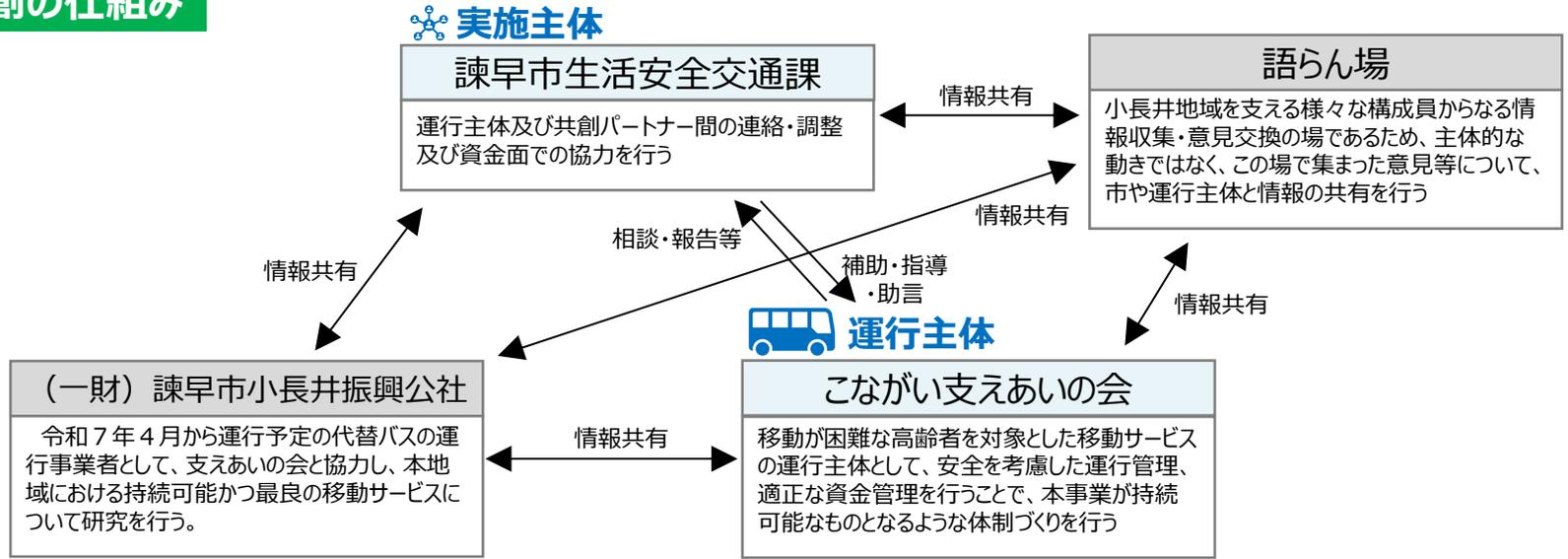
(現状の地域課題と事業目的)

過疎地域に指定されている諫早市小長井地域は高齢化が深刻化(高齢化率40%超)しており、日常生活において最寄りのバス停まで歩くことができないなど移動手段の確保が困難な高齢者が増加しているため、公社が行う代替バス運行ルート周辺部の公共交通空白地域に移動サービスの提供エリアを拡大させ、地域で支えあう仕組みづくりとしての輸送サービス（ボランティア輸送）を実施する。

(事業の概要)

地区社協を前身とした支えあいの会や地域の実情に合った介護予防と生活支援の体制整備のあり方を検討・協議する場として8年前に始まった語らん場と連携・協働し、地域の高齢者を地域住民で支えることができるような仕組みづくりとしてのボランティア輸送を行う。また、同地域において路線バス延長の短縮に伴い、短縮された区間に代替バスの運行を予定している公社と協力し、地域全体を網羅する持続可能な公共交通体系を構築する。

### 事業の全体像・共創の仕組み



### 取組の詳細

#### (地域の関係者との連携・協働)

ボランティア輸送を行う支えあいの会は市と連携し、安全を考慮した運行管理や適正な資金管理体制を構築するとともに、持続可能な事業となるよう体制づくりを行う。また、本地域の様々な構成員からなる語らん場（共創パートナー）や本地域においてバス路線延長が短縮される区間に代替バスを運行する公社と高齢者だけではなく地域の移動に係る諸問題について情報を共有することで、より良い移動の仕組みづくりに向けた体制を構築していくもの。

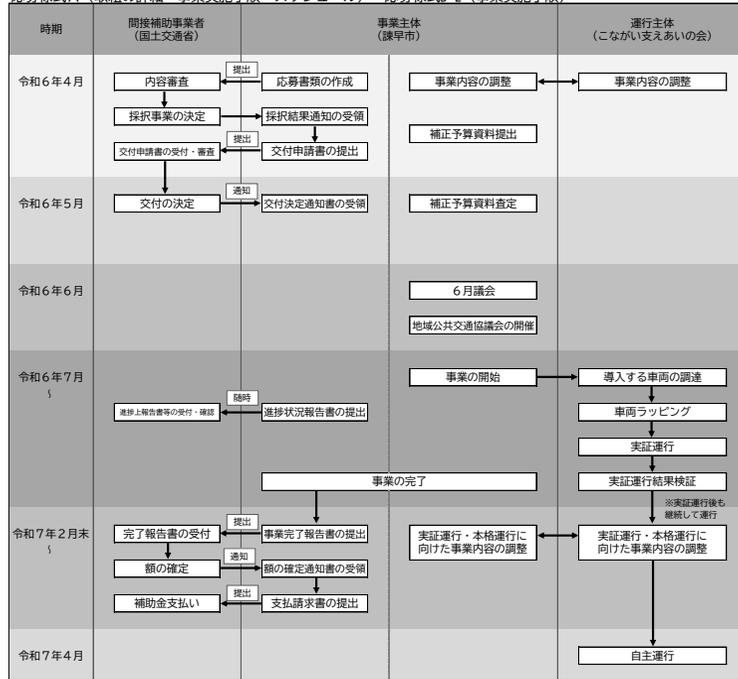
#### (実証事業により見込まれる効果)

これまで移動手段がなく外出をあきらめざるを得なかった高齢者（利用者）について、地域住民の協力（運転手となる）を得て、買い物や通院等を目的とした外出機会が得られるもの。利用者の把握については、自治会長や民生委員、地域包括支援センターの協力を得ることで、地域の高齢者を地域で守る仕組みづくりが可能となり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていける環境の構築が図られる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

応募様式A (取組の詳細-事業実施手順・スケジュール) ・ 応募様式B-2 (事業実施手順)



(事業実施手順)

- ① 応募書類の作成～提出 (市)  
※採択の有無に関係なく事業は実施するため、運行主体、他の事業者主体後事業内容に係る協議・調整を継続して行う。
- ② 採択事業の決定
- ③ 交付申請書の提出～交付の決定 (市)  
※同時に6月補正により事業予算を確保
- ④ 地域公共交通協議会の開催 (市)  
※協議会委員へ事業の説明
- ⑤ 導入する車両の調達・ラッピング等 (運行主体)
- ⑥ 実証運行 (運行主体)
- ⑦ 実証運行結果検証 (市・運行主体・事業者主体)
- ⑧ 事業報告書の提出～補助金支払 (市)

※左図については、拡大したものを添付しています。

(補助事業実施後の予定)

高齢者の移動手段の確保については本地域に限らず、市内のあらゆる地域において以前からの課題となっている。実証運行が本格運行に移行したとしても本事業が地域住民に浸透するには一定の時間が必要であると思われるため、実証運行の結果を踏まえ、内容を調整したうえで本格運行につなげる。

運行主体である支えあいの会においては、当面は、市からの補助金による運営を行いつつ、将来的には、資金面等の持続性の観点から介護保険事業 (訪問型サービスD)への移行を目指すとともに、この取組をモデルケースとして他地域への拡大を目指す。